

校長	教頭	教頭

科目名	英語コミュニケーション I	単位数	2	学年	1
教科名	外国語(英語)	担当者氏名			
使用教科書	COMET English Communication I				
副教材	COMET English Communication I ペーシックノート				

科目の目標

(1)	(2)	(3)
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションの行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

観点別学習状況の評価

観点	評価	評価基準	評価の材料
知識・技能	A B C	A:学習目標や課題を高度かつ十分に達成できる B:学習目標や課題をおおむね達成できる C:学習目標や課題の達成に努力を要する	*定期テスト *小テスト *パフォーマンス課題 *ワークシート *発表 *グループでの話し合い *調べ学習 *教師による行動観察 *生徒による自己評価や相互評価 *その他
思考・判断・表現			
主体的に学習に取り組む態度			

シラバス

◎その単元において特に重点化して指導し、記録に残す事項
○その単元において指導する事項

学期	学習項目	評価規準	領域					評価方法
			聞くこと	読むこと	「や話すこと」とりこ	「話すこと」と発表	書くこと	
1学期	Lesson 1 What Did You Do in Japan?	<知識・技能> ・動詞の過去形の用法に関する理解をもとに、各投稿者の日本での体験について書かれた文章を読み取る能力を身につけている。	○	◎	○	○	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<思考・判断・表現> ・各投稿者の日本での体験について理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。	○	◎	○	○	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<主体的に学習に取り組む態度> ・各投稿者の日本での体験について理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。	○	◎	○	○	○	・取り組み状況 ・ワークシート
	Lesson 2 When Do You Feel Happy?	<知識・技能> ・動詞の進行形の用法に関する理解をもとに、ダンスについてのダイキとアナの会話を読み取る能力を身につけている。	○	○	◎	◎	◎	・授業での取り組み ・ワークシート
		<思考・判断・表現> ・自分の好きなことについて、情報や考えを整理して発表したり、クラスメートの発表を聞いて質問や感想を伝えあったりしている。	○	○	◎	◎	◎	パフォーマンス課題
		<主体的に学習に取り組む態度> ・自分の好きなことについて、情報や考えを整理して発表したり、クラスメートの発表を聞いて質問や感想を伝えあったりしようとしている。	○	○	◎	◎	◎	・取り組み状況 ・ワークシート
	Lesson 3 Onigiri Goes Overseas	<知識・技能> ・日本の文化を紹介する記事と読後のやりとりを聞き、その内容を理解する技能を身につけている。 ・助動詞の用法を理解している。	◎	◎	○	○	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<思考・判断・表現> ・おにぎりの海外での人気とその理由について理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。	◎	◎	○	○	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<主体的に学習に取り組む態度> ・日本文化を紹介する記事と読後のやりとりを聞き、必要な情報や概要・要点を捉えようとしている。	◎	◎	○	○	○	・取り組み状況 ・ワークシート

2 学 期	Lesson 4 Pictograms	<知識・技能> ・to-不定詞の用法に関する理解をもとに、ピクトグラムについて書かれた文章を読み取る能力を身につけている。	○	◎	○	○	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<思考・判断・表現> ・ピクトグラムについて理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。	○	◎	○	○	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<主体的に学習に取り組む態度> ・ピクトグラムについて理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。	○	◎	○	○	○	・取り組み状況 ・ワークシート
	Lesson 5 Morita Yuko	<知識・技能> ・動名詞の用法に関する理解をもとに、ファシリテッドッグやハンドラーの仕事についての森田優子さんのインタビューを読み取る能力を身につけている。	○	○	◎	◎	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<思考・判断・表現> ・本文の内容に関連して、動物やペット、ハンドラーの仕事などについて、学習した語彙や言語材料、TOOLBOXの語句を用いて、自分の意見を話している。	○	○	◎	◎	○	パフォーマンス課題
		<主体的に学習に取り組む態度> ・本文の内容に関連して、動物やペット、ハンドラーの仕事などについて、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を話そうとしている。	○	○	◎	◎	○	・取り組み状況 ・ワークシート
	Lesson 6 Convenience Stores: Keys to Their Success	<知識・技能> ・that節の用法に関する理解をもとに、コンビニエンスストアの成功のかぎについて書かれた文章を読み取る能力を身につけている。	◎	○	○	○	◎	・授業での取り組み ・ワークシート
		<思考・判断・表現> ・お気に入りの店についての発表とその後のやりとりを聞き、必要な情報や概要・要点を捉えている。	◎	○	○	○	◎	・授業での取り組み ・ワークシート
		<主体的に学習に取り組む態度> ・お気に入りの店についての発表とその後のやりとりを聞き、必要な情報や概要・要点を捉えようとしている。	◎	○	○	○	◎	・取り組み状況 ・ワークシート
	Lesson 7 High School Aquarium	<知識・技能> ・現在完了形の用法に関する理解をもとに、高校の水族館部の活動や将来設計についての生徒のインタビューを読み取る能力を身につけている。	○	◎	○	○	◎	・授業での取り組み ・ワークシート
		<思考・判断・表現> ・本文の内容に関連して、クラブ活動などについて、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を書いている。	○	◎	○	○	◎	・授業での取り組み ・ワークシート
		<主体的に学習に取り組む態度> ・本文の内容に関連して、クラブ活動などについて、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を書こうとしている。	○	◎	○	○	◎	・取り組み状況 ・ワークシート
3 学 期	Lesson 8 Smart Farming	<知識・技能> ・受け身の用法に関する理解をもとに、スマート農業の具体例や利点について書かれた文章を読み取る能力を身につけている。	○	○	○	○	◎	・授業での取り組み ・ワークシート
		<思考・判断・表現> ・本文の内容に関連して、スマート農業やドローン、農業に従事することなどについて、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を書いている。	○	○	○	○	◎	・授業での取り組み ・ワークシート
		<主体的に学習に取り組む態度> ・本文の内容に関連して、スマート農業やドローン、農業に従事することなどについて、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を書こうとしている。	○	○	○	○	◎	・取り組み状況 ・ワークシート
	Lesson 9 Food Waste	<知識・技能> ・比較表現の用法に関する理解をもとに、世界の食糧問題や食品廃棄が起こる原因、日本の食糧事情などについて書かれた文章を読み取る能力を身につけている。	○	○	◎	◎	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<思考・判断・表現> ・食糧の大切さ、食品廃棄、将来の食糧事情などについて、情報や考えを整理して発表したり、クラスメートの発表を聞いて質問や感想を伝えあったりしている。	○	○	◎	◎	○	パフォーマンス課題
		<主体的に学習に取り組む態度> ・食糧の大切さ、食品廃棄、将来の食糧事情などについて、情報や考えを整理して発表したり、クラスメートの発表を聞いて質問や感想を伝えあったりしようとしている。	○	○	◎	◎	○	・取り組み状況 ・ワークシート
	Lesson 10 William and His Windmill	<知識・技能> ・関係代名詞の用法に関する理解をもとに、ウィリアムが風車を完成させるまでの経緯や、その後彼に起こったことについて書かれた文章を読み取る能力を身につけている。	◎	◎	○	○	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<思考・判断・表現> ・地域のためにできることについての発表とその後のやりとりを聞き、必要な情報や概要・要点を捉えている。	◎	◎	○	○	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<主体的に学習に取り組む態度> ・地域のためにできることについての発表とその後のやりとりを聞き、必要な情報や概要・要点を捉えようとしている。	◎	◎	○	○	○	・取り組み状況 ・ワークシート

校長	教頭	教頭

科目名	英語コミュニケーションII	単位数	3	学年	2 (1～4組)
教科名	外国語(英語)	担当者氏名			
使用教科書	COMET English Communication II				
副教材	COMET English Communication II ベーシックノート				

科目の目標

(1)	(2)	(3)
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションの行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

観点別学習状況の評価

観点	評価	評価基準	評価の材料
知識・技能	A B C	A:学習目標や課題を高度かつ十分に達成できる B:学習目標や課題をおおむね達成できる C:学習目標や課題の達成に努力を要する	*定期テスト *小テスト *パフォーマンス課題 *ワークシート *発表 *グループでの話し合い *調べ学習 *教師による行動観察 *生徒による自己評価や相互評価 *その他
思考・判断・表現			
主体的に学習に取り組む態度			

シラバス

◎その単元において特に重点化して指導し、記録に残す事項
○その単元において指導する事項

学期	学習項目	評価規準	領域					評価方法
			聞くこと	読むこと	「や」話すこと 「り」とり」	「話」発すること	書くこと	
1 学期	Lesson 1 Places Worth Visiting	<知識・技能> ・wantなど+(人)+to 不定詞の用法に関する理解をもとに、行ってみたい場所について書かれた文章を読み取る能力を身につけている。	○	◎	○	○	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<思考・判断・表現> ・ダイキとエラの旅先での体験について理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。	○	◎	○	○	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<主体的に学習に取り組む態度> ・ダイキとエラの旅先での体験について理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。	○	◎	○	○	○	・取り組み状況 ・ワークシート
	Lesson 2 Iwago Mitsuki: Animal Photographer	<知識・技能> ・疑問詞+to不定詞の用法に関する理解をもとに、岩合氏について書かれた文章の概要や要点を把握している。	○	○	○	◎	◎	・授業での取り組み ・ワークシート
		<思考・判断・表現> ・学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を話したり、書いた入りしている。	○	○	○	◎	◎	パフォーマンス課題
		<主体的に学習に取り組む態度> ・学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を話したり、書いた入りしようとしている。	○	○	○	◎	◎	パフォーマンス課題
	Lesson 3 The Haka	<知識・技能> ・分詞の用法に関する理解をもとに、ハカについて書かれた文章を読み取る能力を身に着けている。	○	◎	○	○	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<思考・判断・表現> ・ハカについて理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。	○	◎	○	○	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<主体的に学習に取り組む態度>						

2 学 期		・ハカについて理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。	○	◎	○	○	○	・取り組み状況 ・ワークシート
	Lesson 4 Digital Detox	・if節・疑問詞節の用法に関する理解をもとに、デジタル機器の使い過ぎによる問題とデジタルデトックスについて書かれた文章を読み取る能力を身につけている。	○	○	◎	○	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<思考・判断・表現> ・デジタルデトックスについて学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を書いたり、ペアで話し合ったりしている。	○	○	◎	○	○	パフォーマンス課題
		<主体的に学習に取り組む態度> ・デジタルデトックスについて学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を書いたり、ペアで話し合ったりしようとしている。	○	○	◎	○	○	パフォーマンス課題
	Lesson 5 Goal Setting	<知識・技能> ・seem+to不定詞の用法に関する理解とともに、目標設定の3つの事例について書かれた文章を読み取る能力を身につけている。	○	○	○	○	◎	・授業での取り組み ・ワークシート
		<思考・判断・表現> ・目標設定において重要なことについて、過去や現在の目標/吹奏楽や明日の目標/将来の目標について、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を書くことができる。	○	○	○	○	◎	・授業での取り組み ・ワークシート
		<主体的に学習に取り組む態度> ・目標設定において重要なことについて、過去や現在の目標/吹奏楽や明日の目標/将来の目標について、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を書くことができる。	○	○	○	○	◎	・取り組み状況 ・ワークシート
	Lesson 6 The High School Hair Salon	<知識・技能> ・助動詞+have+過去分詞の用法の理解をもとに、高校生美容室の活動内容や部員の思いについて書かれた文章を読み取る能力を身につけている。	◎	○	◎	○	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<思考・判断・表現> ・就きたい職業について、情報や考えを整理して発表したり、クラスメートの発表を聞いて質問や感想を伝えあったりしている。	◎	○	◎	○	○	パフォーマンス課題
		<主体的に学習に取り組む態度> ・就きたい職業について、情報や考えを整理して発表したり、クラスメートの発表を聞いて質問や感想を伝えあったりしようとしている。	◎	○	◎	○	○	パフォーマンス課題
3 学 期	Lesson 7 You Can Make a Difference	<知識・技能> ・過去完了形の用法に関する理解をもとに、バリ島が抱えるプラスチックゴミの問題やメラティとイザベル姉妹によるBye Bye Plastic Bags計画について書かれた文章を読み取る能力を身につけている。	○	○	◎	○	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<思考・判断・表現> ・本文の内容に関連して、クラブ活動などについて、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を伝えている。	○	○	◎	○	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<主体的に学習に取り組む態度> ・本文の内容に関連して自分の住んでいる町/環境にやさしい製品/環境保護のボランティア計画などについて、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を伝えようとしている。	○	○	◎	○	○	・取り組み状況 ・ワークシート

3 6 9 3 6

校長	教頭	教頭

科目名	英語コミュニケーションII	単位数	3	学年	2(5組)
教科名	外国語(英語)	担当者氏名			
使用教科書	COMET English Communication II				
副教材	COMET English Communication II ページックノート				

科目の目標

(1)	(2)	(3)
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

観点及びその趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況に応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションの行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図のなどを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

観点別学習状況の評価

観点	評価	評価基準	評価の材料
知識・技能	A B C	A:学習目標や課題を高度かつ十分に達成できる B:学習目標や課題をおおむね達成できる C:学習目標や課題の達成に努力を要する	*定期テスト *小テスト *パフォーマンス課題 *ワークシート *発表 *グループでの話し合い *調べ学習 *教師による行動観察 *生徒による自己評価や相互評価 *その他
思考・判断・表現			
主体的に学習に取り組む態度			

シラバス

◎その単元において特に重点化して指導し、記録に残す事項
○その単元において指導する事項

学期	学習項目	評価規準	領域					評価方法
			聞く こと と 読む こと	「 読む こと と 書く こと 」	「 話す こと と 書く こと 」	「 発表 こと と 書く こと 」	書く こと	
1 学期	Lesson 1 Places Worth Visiting	<知識・技能> ・wantなど+(人)+to 不定詞の用法に関する理解をもとに、行ってみたい場所について書かれた文章を読み取る能力を身につけている。	○	◎	○	○	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<思考・判断・表現> ・ダイキとエラの旅先での体験について理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。	○	◎	○	○	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<主体的に学習に取り組む態度> ・ダイキとエラの旅先での体験について理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。	○	◎	○	○	○	・取り組み状況 ・ワークシート
	Lesson 2 Iwago Mitsuaki: Animal Photographer	<知識・技能> ・疑問詞+to不定詞の用法に関する理解をもとに、岩合氏について書かれた文章の概要や要点を把握している。	○	○	○	◎	◎	・授業での取り組み ・ワークシート
		<思考・判断・表現> ・学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を話したり、書いた入りしている。	○	○	○	◎	◎	パフォーマンス課題
		<主体的に学習に取り組む態度> ・学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を話したり、書いた入りしようとしている。	○	○	○	◎	◎	パフォーマンス課題
	Lesson 3 The Haka	<知識・技能> ・分詞の用法に関する理解をもとに、ハカについて書かれた文章を読み取る能力を身に付けている。	○	◎	○	○	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<思考・判断・表現> ・ハカについて理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。	○	◎	○	○	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<主体的に学習に取り組む態度> ・ハカについて理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。	○	◎	○	○	○	・取り組み状況 ・ワークシート
	Lesson 4 Digital Detox	<知識・技能> ・if節・疑問詞節に関する事項を理解している。	○	○	◎	○	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<思考・判断・表現> ・デジタル機器の使い過ぎによる問題とデジタルデトックスについて書かれた本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。	○	○	◎	○	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<主体的に学習に取り組む態度> ・自分の気持ちや考えを伝えるために、分詞を用いて短い英文を書いたり、ペアで話し合ったりしようとしている。	○	○	◎	○	○	・取り組み状況 ・ワークシート

2 学 期	Lesson 5 Goal Setting	<知識・技能> ・seem+to不定詞の用法に関する理解とともに、目標設定の3つの事例について書かれた文章を読み取る能力を身に付けている。	○	○	○	○	◎	・授業での取り組み ・ワークシート
		<思考・判断・表現> ・目標設定において重要なことについて、過去や現在の目標/吹奏楽や明日の目標/将来の目標について、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を書くことができる。	○	○	○	○	◎	・授業での取り組み ・ワークシート
		<主体的に学習に取り組む態度> ・目標設定において重要なことについて、過去や現在の目標/吹奏楽や明日の目標/将来の目標について、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を書くことができる。	○	○	○	○	◎	・取り組み状況 ・ワークシート
	Lesson 6 The High School Hair Salon	<知識・技能> ・助動詞+have+過去分詞の用法の理解をもとに、高校生美容室の活動内容や部員の思いについて書かれた文章を読み取る能力を身に付けている。	◎	○	◎	○	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<思考・判断・表現> ・就きたい職業について、情報や考えを整理して発表したり、クラスメートの発表を聞いて質問や感想を伝えあったりしている。	◎	○	◎	○	○	パフォーマンス課題
		<主体的に学習に取り組む態度> ・就きたい職業について、情報や考えを整理して発表したり、クラスメートの発表を聞いて質問や感想を伝えあったりしようとしている。	◎	○	◎	○	○	パフォーマンス課題
	Lesson 7 You Can Make a Difference	<知識・技能> ・過去完了形の用法に関する理解をもとに、バリ島が抱えるプラスチックゴミの問題やメラティとイザベル姉妹によるBye Bye Plastic Bags計画について書かれた文章を読み取る能力を身につけている。	○	○	◎	○	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<思考・判断・表現> ・本文の内容に関連して、クラブ活動などについて、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を伝えている。	○	○	◎	○	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<主体的に学習に取り組む態度> ・本文の内容に関連して自分の住んでいる町/環境にやさしい製品/環境保護のボランティア計画などについて、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を伝えようとしている。	○	○	◎	○	○	・取り組み状況 ・ワークシート
	Lesson 8 Nudge	<知識・技能> ・関係代名詞whatに関する事項を理解している。	○	◎	○	○	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<思考・判断・表現> ・本文の内容に関連して、ナッジの効果や公共の場の掲示などについて、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を伝えている。	○	◎	○	○	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<主体的に学習に取り組む態度> ・本文の内容に関連して、ナッジの効果や公共の場の掲示などについて、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句を用いて、自分の意見を伝えようとしている。	○	◎	○	○	○	・取り組み状況 ・ワークシート
3 学 期	Lesson 9 The Father of Braille Blocks	<知識・技能> ・関係副詞の用法に関する理解をもとに、点字ブロックの開発や普及の経緯について書かれた文章を読み取る能力を身につけている。	○	◎	○	○	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<思考・判断・表現> ・点字ブロックの開発者について理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。	○	◎	○	○	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<主体的に学習に取り組む態度> ・点字ブロックの開発者について理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。	○	◎	○	○	○	・取り組み状況 ・ワークシート
	Lesson 10 Do We Need That?	<知識・技能> ・使役動詞の用法に関する理解をもとに、日本のサービスに対する留学生の考えについて書かれた文章を読み取る能力を身につけている。	◎	○	○	◎	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<思考・判断・表現> ・不要なサービスについて、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句等を用いて、自分の意見を伝えている。	◎	○	○	◎	○	パフォーマンス課題
		<主体的に学習に取り組む態度> ・不要なサービスについて、学習した語彙や言語材料、TOOL BOXの語句等を用いて、自分の意見を伝えようとしている。	◎	○	○	◎	○	パフォーマンス課題
	Lesson 11 The Vancouver Asahi	<知識・技能> ・知覚動詞の用法に関する理解をもとに、日経カナダ人の暮らしやバンクーバー朝日について書かれた文章を読み取る能力を身につけている。	◎	○	○	○	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<思考・判断・表現> ・人権を守るために活動した人物についての発表とその後のやりとりを聞き、必要な情報や概要・要点を捉えている。	◎	○	○	○	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<主体的に学習に取り組む態度> ・人権を守るために活動した人物についての発表とその後のやりとりを聞き、必要な情報や概要・要点を捉えようとしている。	◎	○	○	○	○	・取り組み状況 ・ワークシート
	Lesson 12 From Small Companies to the world	<知識・技能> ・仮定法の用法に関する理解をもとに、日本の小さな会社が開発した優れた製品や、開発に成功した理由について書かれた文章を読み取る能力を身につけている。	○	◎	○	○	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<思考・判断・表現> ・日本の小さな会社の開発力について理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握している。	○	◎	○	○	○	・授業での取り組み ・ワークシート
		<主体的に学習に取り組む態度> ・日本の小さな会社の開発力について理解を深めるために、本文の内容を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。	○	◎	○	○	○	・取り組み状況 ・ワークシート

校 長	教 頭	教 頭

科 目 名	英語会話			教 科 名	外国語
学 年	3 年	単 位 数	2 単位	担当者氏名	

1 科目「英語会話」について

学習の到達目標	①日常的な話題について、聞いたことや読んだことを理解することができる。 ②日常的な話題について、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝えることができる。 ③日常的な話題について、積極的にコミュニケーションを図ろうとすることができる。
使用教科書	SELECT English Conversation(三省堂)

2 科目全体の評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
○言語活動に主体的・積極的に取り組もうとしている。 ○さまざまな工夫をすることでコミュニケーションを主体的に続けようとしている。	○関心のあることなどについて正しく英語で話すことができる。 ○場面や目的に応じて適切に話すことができる。	○相手の意図や話の内容を正しく聞き取ることができる。 ○相手が伝えようとすることを、場面や目的に合わせて適切に聞き取ることができる。	○言語の運用について基本的知識を持っている。 ○英語の学習で与えられた文化的背景を理解している。

3 観点別学習状況の評価の数量化

評 価	内 容	判定基準	得 点
A	十分に理解できると判断されるもの	80%以上	3
B	おおむね満足できると判断されるもの	50%～79%	2
C	努力を要すると判断されるもの	50%未満	1

※判定基準、得点は各教科・各科で検討し設定。
※評価簿の作成を行う。(例：4観点別評価簿及び実際評価簿については別紙)

4 各学期及び学年の評価方法

各学期及び学年はシラバスで記載する。また、5段階評価においては以下の通り。中間考査および期末考査の成績、ワークシート、ペアワーク、発表、授業への取り組みの姿勢や学習への意欲などを総合的に評価する。

評 価 内 容	100点法	5段階評価
十分満足できると判断されるもののうちで、特に高い程度のもの	80～100	5
十分満足できると判断されるもの	65～79	4
おおむね満足できると判断されるもの	50～64	3
努力を要すると判断されるもの	35～49	2
努力を要すると判断されるもののうち、特に程度の低いもの	0～34	1

5 シラバス

学期	月	学習内容 (教科書の構成)	学習のねらい (文法事項)	評価の観点のポイント
1 学期	4	Warm Up スターになって自己紹介	自己紹介ゲーム	・初対面の挨拶や自己紹介の仕方を覚える
		Lesson 1 New Friends	・出身中学校、入りたいクラブ、興味のある事を聞く。 ○be going to ~ の用法 (未来表現) ○want to ~の用法 (不定詞)	・正しく質問ができ、相手の言った内容を正しく聞き取る。聞き取った内容を発表する。
		Lesson 2 Free Time	・余暇について聞く。 ・週末の過ごし方を聞く。 ○現在形、過去形	・余暇の過ごし方の表現を覚える。相手に質問することができる。
	5	Lesson 3 Are You okay?	・体調や体調についてのアドバイスを話す。 ○ 助動詞 should	・体調について尋ねることができる。 ・体調が悪いときの表現、アドバイスをするときの表現を覚える。
		Listen! Listen! Listen!1	ゲーム形式のリスニング「埋もれた財宝を探せ」、ラジオのスポーツニュース、「世界に一つだけの花」の朗読を聞く。	・電話での会話やスポーツニュースを正しく聞き取ることができる。
	6	Games in English I : Square Game	英語の指示を聞き、枠の中に絵や数字を書いていく。	・指示を聴き取り、正しい絵や数字を枠の中に書ける。
		Lesson 4 Our School	・自分の学校について話す。 ○There is/are~ 「～があります」	・自分の学校について話し、聞き取ることができる。
2 学期	7	Lesson 5 Weather	・天気・気候について話す ○ 助動詞 will	・天気や気候の表現を覚える。 ・天気や気候について尋ねたり答えたりできる。
	9	Lesson 6 TV Programs	・自分の好きな番組やスターについて言う。○ 動名詞	・好きな番組やスターについて尋ね、答えることができる。
	10	Listen! Listen! Listen!2	・ゲーム形式のリスニング「私のキャンディはどこ」、空港のアナウンス、英語の詩の朗読を聞く。	・アナウンスや朗読される英語を正しく聞き取れることができる。
		Games in English 2: Guess What Game	・英語の説明を聞き、何を表しているのかをゲーム形式で行う。	・説明を聞き、説明と合った正しい物を選択できる。
		Lesson 7 Talking on a Cell Phone	・携帯電話での会話表現 ○ 現在完了形	・「今話せるか」、「電源を切る」、「メールを送る、受信する」などの表現を覚える。
	11	Lesson 8 Telling the Way	・行き方を聞く・意志を伝える ・場所を示す ○S+V+O+O	・道案内に関する表現を覚える。 ・地図を見ながら、道のりを説明する表現法を学び、実際に英語で道案内をしてみる。
		Lesson 9 Kyoto	・バスや電車を使って、京都の名所を案内する。 ○How long~? 「どのくらいかかる?」	・バスや電車を使って、京都の名所への行き方の表現を覚える。
3 学期	1	Lesson 10 Shopping	・自分の欲しい物を買う ○現在進行形 S+V+C	・英語で買い物をするとき、自分の好みを伝える表現を覚える。
		Games in English3 : Math Bingo Game	・計算問題を使ったビンゴゲームを行う。	・計算問題を正しく聞き取れることができる。
		Listen! Listen! Listen!3	・ゲーム形式のリスニング「秘密の書類を追え」、ラジオコマーシャル、英語の演説「I Have a Dream」を聞く。	・英文、演説を聞き、質問に正しく答えることができる。
	2	Lesson 11 Restaurant	・食事の注文の仕方。 ○不定詞 (形容詞的用法)	・レストランで自分が注文したい食事を注文する表現を覚える。
		Lesson12 Making a Plan	・待ち合わせの際の表現 ○Let's ~? Shall we~?	・相手を誘うとき、誘われるときの表現を覚える。
	2	Lesson 13 Future Jobs	・自分のなりたい職業について話す。 ○Why-Because 不定詞 (副詞用法)	・自分のなりたい職業について話し、なぜなりたいのか理由を言うことができる。

校長	教頭	教頭

科目名	英語探究	教科名		英語(外国語)	
学年	2 年 3 年	単位数	2 単位	担当者氏名	
使用教材	Watching Joyful(Hamajima Shoten), the Internet, DVD and etc.				

1. 学習の到達目標

- ①語彙力を高めつつ、聞く技術や読む技術を身につけ、英語の基礎的なコミュニケーション能力の向上を図る。
- ②自身の英語能力を把握し、学習目標を設定することによって、英語学習のモチベーション作りをする。
- ③あらゆるメディアの英語を聞き、また読むことで幅広い領域で使われる英語に興味を持ち、グローバルな視点で、自らインターネットを活用し情報を求める。

2. 評価の観点

①関心・意欲・態度	②表現の能力	③理解の能力	④知識・理解
○言語活動に主体的・積極的に取り組み、自己表現することへの意欲を高め積極的にコミュニケーションを図る。	○多様な言語の使用場面において英語で自己表現することができる。	○幅広い話題について、相手が伝えようとすることを、場面や目的に合わせて正しく聞き取ることができる。	○言語の運用について基本的知識を持っている。 ○言語学習の背景にある文化や歴史を理解している。

3. 観点別学習状況の評価の数量化

評 価	内 容	判定基準	得 点
A	十分に理解できると判断されるもの	80%以上	3
B	おおむね満足できると判断されるもの	50%～79%	2
C	努力を要すると判断されるもの	50%未満	1

4. 各学期及び学年の評価方法

各学期及び学年はシラバスで記載する。また、5段階評価においては以下の通り。

期末考査の成績、提出物、発表、授業への取り組みの姿勢や学習への意欲などを総合的に評価する。

評 価 内 容	100点法	5段階評価
十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの	80～100	5
十分満足できると判断されるもの	65～79	4
おおむね満足できると判断されるもの	50～64	3
努力を要すると判断されるもの	35～49	2
努力を要すると判断されるもののうち、特に程度の低いもの	0～34	1

5. 学習計画

学期	月	教科書（単元）、メディア	学習内容	配当時数	備考
1	4	- Self-introduction - Class Orientation - Unit 1 YOASOBI	- 自己紹介 - YOASOBI に関する英文読解	6	提出物・活動・期末考査
	5	- Unit 2 American Football - Unit 3 MISO de SMILE	- アメリカンフットボールに関する英文読解 - 地元のみそに関する英文読解	6	
	6	- Unit 4 Omyyakon, the World's Coldest Village - Unit 5 Eco-Friendly Furniture	- 世界一寒い村に関する英文読解 - 環境にやさしい組み立て家具に関する英文読解	6	
	7	- Research - Presentation	- 調べ学習 - 発表活動	7	
2	9	- Unit 6 Horigome Yuto: Skateboarder - Unit 7 Holi, the World's Most Colorful Festival	- スケートボードの金メダリスト堀米雄斗選手に関する英文読解 - ホーリー祭に関する英文読解	8	提出物・活動・期末考査
	10	- Lesson 8 Blackboard Art - Lesson 9 Pictograms Go Beyond Borders	- 黒板アートに関する英文読解 - ピクトグラムに関する英文読解	6	
	11	- Lesson 10 Capybaras - Research	- カピバラに関する英文読解 - 調べ学習	4	
	12	- Research - Presentation	- 調べ学習 - 発表活動	7	
3	1	- Lesson 11 Green Curtains - Lesson 12 Designing Sports Wheelchairs	- 緑のカーテンに関する英文読解 - パラアスリートに関する英文読解	8	活動・期末考査
	2	- Film - Presentation	- 映画鑑賞を通して、自然な英語に親しむ。 - 調べ学習、発表活動	8	
	3	Film	映画鑑賞を通して、自然な英語に親しむ。	4	

校 長	教 頭	教 頭

科 目 名	韓国語			教 科 名	外国語
学 年	1 年	単 位 数	2 単位	担当者氏名	

1 科目「韓国語」について

学習の到達目標	① ハングルの読み書きと基礎的な韓国語の文章構造を理解できるようにすること。 ② 挨拶や自己紹介などの簡単な表現をできるようにすること。
使 用 教 科 書	「日本人のためのチャレンジ韓国語1」長嶺聖子著

2 科目全体の評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
言語活動に主体的・積極的に取り組む。	場面や目的に応じて適切に話すことができる。	相手の意図や話の内容を聞き取り、その情報を適切に理解できる。	韓国語の言語構造についての基本的知識を持っている。 韓国語の背景にある文化などを理解している。
提出物、平常の学習活動・学習態度、授業での質疑に対する応答等	授業での質疑に対する応答、音読テストなど	平常の学習活動、提出物、音読テスト等	平常の学習活動、テスト等

3 観点別学習状況の評価の数量化

評 価	内 容	判定基準	得 点
A	十分に理解できると判断されるもの	80%以上	3
B	おおむね満足できると判断されるもの	50%～79%	2
C	努力を要すると判断されるもの	50%未満	1

※判定基準、得点は各教科・各科で検討し設定。
※評価簿の作成を行う。(例：4観点別評価簿及び実際評価簿については別紙)

4 各学期及び学年の評価方法

各学期及び学年はシラバスで記載する。また、5段階評価においては以下の通り。中間考査および期末考査の成績、ワークシート、ペアワーク、発表、授業への取り組みの姿勢や学習への意欲などを総合的に評価する。

評 価 内 容	100点法	5段階評価
十分満足できると判断されるもののうちで、特に高い程度のもの	80～100	5
十分満足できると判断されるもの	65～79	4
おおむね満足できると判断されるもの	50～64	3
努力を要すると判断されるもの	35～49	2
努力を要すると判断されるもののうち、特に程度の低いもの	0～34	1

シラバス

学期	月	学習内容 (教科書の構成)	学習のねらい (文法事項)	評価の観点のポイント
1 学期	4	第2課「基本母音」	ハングルの基本構造、母音・子音を学ぶ。	正しく発音することができる。
		第3課「子音」	・陽音・陰音 ・平音・激音・濃音 ・有声音化	正しい順序で覚えることができる。
		第4課「反切表」	ハングル表を学ぶ。	正しく発音することができる。 正しい順序で覚えることができる。
	5	第5課「複合母音」	複合母音、パッチムを学ぶ。	構造を理解し、正しく組み合わせることができる。 正しく発音することができる。
		第6課「終声（パッチム）」		
		第2～第6課までの復習	第2～第6課まで学んだことをマスターする。	第2課～第6課まで学んだことをマスターできる。
	6	第7課「日本語のハングル表記」	色々な音をハングルに変換する。 ・日本語のハングル表記 ・外来語表記	正しく表記できる。
		第8課「はじめましてです」	語彙と基本的な文法を学ぶ。 ・連音 ・助詞	正しく連音の発音をすることができる。 パッチムの有無によって付属させる助詞を判断できる。
7	第8課「はじめましてです」	語彙と基本的な文法を学ぶ。 ・叙述文、疑問文 ・待遇表現	叙述文と疑問文の語尾の音の違いを正しく発音できる。 パッチムの有無によって語尾を変化させることができる。 待遇表現を状況によって使い分けることができる。	
2 学期	9	第1課「ハングルの成り立ち」	簡単な自己紹介表現の流れを学ぶ。	第8課で学んだことを活用し、簡単な自己紹介ができる。
	10	第9課「ショッピング」	ショッピングする際に使う表現を学ぶ。 ・濃音化 ・丁寧な語尾 ・指示語	正しく濃音の発音をすることができる。 母音を縮約する構造を理解し、丁寧な語尾を使うことができる。 指示語が指すものを正しく理解できる。
		第8・9課の復習	第8・9課で学んだことをマスターする。	第8・9課で学んだことをマスターできる。
	11	第10課「レストラン」	お金の単位やレストランでの注文方法を学ぶ。 ・漢字語の数字 ・丁寧な尊敬語尾	漢字語の数字の表現を使うことができる。 注文したいものを相手に正しく伝えることができる。
	12	第11課「ドライブ」	日本語と助詞の異なる表現 ・固有語の数字 ・「～ではない」「～に会う」「～が好きだ」	固有語の数字の表現を使うことができる。 韓国語独自の助詞の表現を正しく使うことができる。
		第10・11課の復習	第10・11課で学んだことをマスターする。	第10・11課で学んだことをマスターできる。
3 学期	1	第12課「まだまだです」	よく使う表現を学ぶ。 ・過去形 ・否定文 ・感嘆文	相手の話を正しく理解し、学んだことを用いてそれに対する返答ができる。
	2	第1～12課までの復習	第1～12課まで学んだことをマスターする。	第1～12課まで学んだことをマスターできる。
	3	韓国語で日記を書いてみる	韓国語で日記を書く。	自分の考えや気持ちを正しく表現することができる。

校 長	教 頭	教 頭

科 目 名	韓国語			教 科 名	外国語
学 年	2年	単 位 数	2 単位	担当者氏名	

1 科目「韓国語」について

学習の到達目標	韓国語(1年)に引き続き、韓国語の基礎的な文章構造の理解と語彙力の増加を図るとともに、基本的な日常会話ができるようになること。
使 用 教 科 書	「日本人のためのチャレンジ韓国語2」長嶺聖子著

2 科目全体の評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
言語活動に主体的・積極的に取り組む。	場面や目的に応じて適切に話することができる。	相手の意図や話の内容を聞き取り、その情報を適切に理解できる。	韓国語の言語構造についての基本的知識を持っている。 韓国語の背景にある文化などを理解している。
提出物、平常の学習活動・学習態度、授業での質疑に対する応答等	授業での質疑に対する応答、音読テストなど	平常の学習活動、提出物、音読テスト等	平常の学習活動、テスト等

3 観点別学習状況の評価の数量化

評 価	内 容	判定基準	得 点
A	十分に理解できると判断されるもの	80%以上	3
B	おおむね満足できると判断されるもの	50%～79%	2
C	努力を要すると判断されるもの	50%未満	1

※判定基準、得点は各教科・各科で検討し設定。
※評価簿の作成を行う。(例：4観点別評価簿及び実際評価簿については別紙)

4 各学期及び学年の評価方法

各学期及び学年はシラバスで記載する。また、5段階評価においては以下の通り。中間考査および期末考査の成績、ワークシート、ペアワーク、発表、授業への取り組みの姿勢や学習への意欲などを総合的に評価する。

評 価 内 容	100点法	5段階評価
十分満足できると判断されるもののうちで、特に高い程度のもの	80～100	5
十分満足できると判断されるもの	65～79	4
おおむね満足できると判断されるもの	50～64	3
努力を要すると判断されるもの	35～49	2
努力を要すると判断されるもののうち、特に程度の低いもの	0～34	1

シラバス

学期	月	学習内容 (教科書の構成)	学習のねらい (文法事項)	評価の観点のポイント
1 学 期	4	1年生の復習	過去形	構造を理解し、適切に使うことができる。
		第1課「自己紹介」	連結語尾、未来の語幹	構造を理解し、適切に使うことができる。
	5	第2課「気温」	「ㄷ」変則、否定の語尾、勧誘形、パンマル	構造を理解し、適切に使うことができる。
	6	第3課「やればできる」	可能の表現、命令形	構造を理解し、適切に使うことができる。
		第4課「韓国の懐石料理」	経験の表現、希望の表現	構造を理解し、適切に使うことができる。
	7	第1～4課	第1～4課までのまとめ	第1～4課までで学んだことをマスターできる。
2 学 期	9	第5課「好きな歌」	進行形、「ㄷ」変則	構造を理解し、適切に使うことができる。
	10	第6課「市内観光」	連結語尾	構造を理解し、適切に使うことができる。
		第7課「お久しぶりです」	連結語尾の応用、禁止の表現	構造を理解し、適切に使うことができる。
	11	第8課「写真」	過去連体形、決定の表現、不可能	構造を理解し、適切に使うことができる。
	12	第5～8課	第5～8課までのまとめ	第5～8課までで学んだことをマスターできる。
3 学 期	1	第9課「誕生パーティ」	許可の表現、「ㄷ」変則	構造を理解し、適切に使うことができる。
	2	第10課「お礼の手紙」	義務の表現、未来形	構造を理解し、適切に使うことができる。
	3	第1～10課	1年間のまとめ	第1～10課までで学んだことをマスターできる。

校 長	教 頭	教 頭

科 目 名	韓国語会話			教 科 名	外国語
学 年	3 年	単 位 数	2 単位	担当者氏名	

1 科目「韓国語」について

学習の到達目標	韓国語(2年)に引き続き、韓国語の基礎的な文章構造の理解と語彙力の増加を図るとともに、基本的な日常会話ができるようになること。
使用教科書	「日本人のためのチャレンジ韓国語2」長嶺聖子著

2 科目全体の評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
言語活動に主体的・積極的に取り組む。	場面や目的に応じて適切に話すことができる。	相手の意図や話の内容を聞き取り、その情報を適切に理解できる。	韓国語の言語構造についての基本的知識を持っている。 韓国語の背景にある文化などを理解している。
提出物、平常の学習活動・学習態度、授業での質疑に対する応答等	授業での質疑に対する応答、音読テストなど	平常の学習活動、提出物、音読テスト等	平常の学習活動、テスト等

3 観点別学習状況の評価の数量化

評 価	内 容	判定基準	得 点
A	十分に理解できると判断されるもの	80%以上	3
B	おおむね満足できると判断されるもの	50%～79%	2
C	努力を要すると判断されるもの	50%未満	1

※判定基準、得点は各教科・各科で検討し設定。
※評価簿の作成を行う。(例：4 観点別評価簿及び実際評価簿については別紙)

4 各学期及び学年の評価方法

各学期及び学年はシラバスで記載する。また、5段階評価においては以下の通り。中間考査および期末考査の成績、ワークシート、ペアワーク、発表、授業への取り組みの姿勢や学習への意欲などを総合的に評価する。

評 価 内 容	100点法	5段階評価
十分満足できると判断されるもののうちで、特に高い程度のもの	80～100	5
十分満足できると判断されるもの	65～79	4
おおむね満足できると判断されるもの	50～64	3
努力を要すると判断されるもの	35～49	2
努力を要すると判断されるもののうち、特に程度の低いもの	0～34	1

シラバス

学期	月	学習内容 (教科書の構成)	学習のねらい (文法事項)	評価の観点のポイント
1 学期	4	2年生の復習	過去形	構造を理解し、適切に使うことができる。
	5	第6課「市内観光」	連結語尾	構造を理解し、適切に使うことができる。
	6	第7課「お久しぶりです」	連結語尾の応用、禁止の表現	構造を理解し、適切に使うことができる。
	7	第6～7課	第6～7課までのまとめ	第1～4課までで学んだことをマスターできる。
2 学期	9	第8課「写真」	過去連体形、決定の表現、不可能	構造を理解し、適切に使うことができる。
	10	第9課「誕生パーティ」	許可の表現、「ㇿ」変則	構造を理解し、適切に使うことができる。
	11	第10課「お礼の手紙」	義務の表現、未来形	構造を理解し、適切に使うことができる。
	12	第8～10課	第8～10課までのまとめ	第8～10課までで学んだことをマスターできる。
3 学期	1	第1～10課	1年間のまとめ	第1～10課までで学んだことをマスターできる。
	2			

令和5年度 シラバス

校 長	教 頭	教 頭

科 目 名	中国語	教 科 名	外国語
学 年	1 年 地域産業科	単 位 数	2 単位
担当者			

1 科目「中国語」について

学習の到達目標	中国語を通じて国際感覚を体得させ、在日中国人や中国観光客と簡単な会話ができるように育成したい。
使用教科書	「中国語 HOP STEP JUMP」金星堂

2 科目全体の評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
○言語活動に主体的・積極的に取り組もうとすること ○さまざまな工夫を加えながらコミュニケーションを積極的にとること。	○関心のあることなどを正しく中国語で話すことができる。 ○場面や目的に応じて適切に話すことができる。	○相手の意図や話の内容を正しく聞き取ることができる。 ○相手が伝えようとすることを、場面や目的に合わせて適切に聞き取ることができる。	○言語の運用について基本的知識を持っている。 ○中国語の学習によって文化的背景が理解できる。
提出物、授業参加、学習態度等	授業での発表、質疑に対する応答、音読テスト等	授業中参加意欲、提出物、音読テスト等	授業中参加意欲、テスト等

3 観点別学習状況の評価の数量化

評 価	内 容	判定基準	得 点
A	十分に理解できると判断される	80%以上	3
B	おおむね満足できると判断される	50%～79%	2
C	努力を要すると判断される	50%未満	1

※判定基準、得点は各教科・各科で検討し設定。

※評価簿の作成を行う。(例：4観点別評価簿及び実際評価簿については別紙)

4 各学期及び学年の評価方法

各学期及び学年はシラバスで記載する。また、5段階評価においては以下の通り。中間考査および期末考査の成績、ワークシート、ペアワーク、発表、授業への取り組みの姿勢や学習への意欲などを総合的に評価する。

評 価 内 容	100点法	5段階評価
十分満足できると判断されるもののうち、特によくできたもの	80～100	5
十分満足できると判断されるもの	65～79	4
おおむね満足できると判断されるもの	50～64	3
努力を要すると判断されるもの	35～49	2
努力を要すると判断されるもののうち、特に程度の低いもの	0～34	1

学期	月	学習内容 (教科書の構成)	学習のねらい (文法事項)	評価の観点のポイント
1 学期	4	発音入門編	母音、子音、声調を学ぶ	・正しく発音することができる。
		中国語紹介 発音特徴を歌を通して掴む 第1課「声調と単母音」 第2課「子音」	・中国語で挨拶する。 ○名前の中国語読み ○授業開始終了挨拶 ○日常挨拶用語	・中国語で挨拶できる。 ・自分の名前を中国語で聴いてわかるし、また言える。
	5	第3課「複母音」 第4課「鼻母音」 第5課「発音上のルール」	・中国語のピンインシステムについて詳しく説明	・ピンイン表記が読める。 ・日本語にない発音と言える。 ・四声をはっきり区別し、正しく発音できる
		GW 中に中国語歌をダウンロードし、聞きなれる	中国語のイントネーションをつかむ	・中国語の四つの声調の変化ができる。
	6	第6課「自己紹介」	・自分の名前、身分、年、誕生日 ○物の数え方 ○名詞述語	・人称代名詞「你 我 他 她」及び複数。 ・判断文、動詞述語文
		第7課「星座」	・星座、年齢、曜日、数を学ぶ。 ○指示代名詞 ○連体修飾語「的」	・数に関する表現を覚える。 ・指示代名詞で表す基本文と言える。
	7	第1～7課の復習	・学習した内容を総まとめ、復習	・期末考査
2 学期	9	第8課「家族構成」	・家族の人数を構成 ○形容詞述語文 ものを数えたり指示したりする際の表現—量詞	・家族を表す語彙習得 ・基本の形容詞と言える。
		第9課「通学」	・所在を表す表現 ○副詞「在」動詞の重ね方	・「在」を使った表現を使える。
		第10課「アルバイト」	・比較を表す表現「比」 ○時間詞 ○数量補語	・「比」を使った表現を使える。
	10	第11課「ファッション」	・動作の完了を表す表現「了」 ○動作の信仰を表す表現「在」	・「了」の表現を覚える。 ・「在」の表現を覚える。
		第12課「約束」	・時刻を学ぶ。 ○意志、願望を表す表現 助動詞「要、想」 ○経験を表す表現「过」	・「要、想」と使った文章を覚える。 ・「过」の表現を覚える
	11	第8～12課の復習	復習によって期末試験準備	期末考査
	12	第13課「空港」	・空港のチェックインで使われる表現 ○助動詞の「能」。 ○選択疑問文	・「できる、できない」という表現を覚える。 ・「それとも」表現を覚える。
		第14課「銀行」	・動作が完成するときの「好」の表現を学ぶ。 ○動作、行為の対象を表す「給」を学ぶ ○銀行でよく使われる表現	・「～好了」という表現を覚える。 ・「给, 不给」の表現を覚える。

3 学 期	1	総まとめ復習、実践会話練習	実際の情景に合わせて会話中心を練習する	中国語の声調、発音を文章の中でしっかりできる。単語の使い方が正確であること。
	2	学年末考査 中国語歌「彩虹」の練習	・歌詞の意味を説明 ・今まで学んで表現を理解できる ・発音を正確にできる	・歌詞の意味を説明 ・今まで学んで表現を理解できる ・発音を正確にできる
	3	中国語のドラマ「流星花園」鑑賞	・今まで学んだ語彙、文法、文形を実際の会話の中での使い方、また聞き取り練習	・正確に普通スピードの生活用語を聞き取れる

令和5年度 シラバス

校 長	教 頭	教 頭

科 目 名	中国語	教 科 名	外国語
学 年	2 年 地域産業科	単 位 数	2 単位
担当者			

1 科目「中国語会話」について

学習の到達目標	昨年を通して学んだ基本的な単語や表現を復習しながら、新しい表現を徐々に加え、目、口、耳を使って繰り返し練習することによって、さらに充実した中国語でのコミュニケーションができるように育成したい。
使用教科書	「中国語HOP STEP JUMP」 (金星堂)

2 科目全体の評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
○言語活動に主体的・積極的に取り組もうとしている。 ○さまざまな工夫でコミュニケーションを積極的に続けようとしている。	○関心のあることなどについて正しく中国語で話すことができる。 ○場面や目的に応じて適切に話すことができる。	○相手の意図や話の内容を正しく聞き取ることができる。 ○相手が伝えようとすることを、場面や目的に合わせて適切に聞き取ることができる。	○言語の運用について基本的知識を持っている。 ○中国語の文化的背景を理解している。
提出物、授業参加、学習態度等	授業での発表、質問に対する応答、音読テスト等	授業参加、提出物、音読テスト等	授業参加、テスト等

3 観点別学習状況の評価の数量化

評 価	内 容	判定基準	得 点
A	十分に理解できると判断されるもの	80%以上	3
B	おおむね満足できると判断されるもの	50%～79%	2
C	努力を要すると判断されるもの	50%未満	1

※判定基準、得点は各教科・各科で検討し設定。

※評価簿の作成を行う。(例：4観点別評価簿及び実際評価簿については別紙)

4 各学期及び学年の評価方法

各学期及び学年はシラバスで記載する。また、5段階評価においては以下の通り。中間考査および期末考査の成績、ワークシート、ペアワーク、発表、授業への取り組みの姿勢や学習への意欲などを総合的に評価する。

評 価 内 容	100点法	5段階評価
十分満足できると判断されるもののうちで、特に高い程度のもの	80～100	5
十分満足できると判断されるもの	65～79	4
おおむね満足できると判断されるもの	50～64	3
努力を要すると判断されるもの	35～49	2
努力を要すると判断されるもののうち、特に程度の低いもの	0～34	1

学 期	月	学習内容 (教科書の構成)	学習のねらい (文法事項)	評価の観点のポイント
	4	1学年の総復習	挨拶の言葉、自己紹介ゲーム	・初対面の挨拶や自己紹介の仕方を覚え

1 学 期				る
		テキスト P8—13 ウォーミングアップ	ピンイン、名前、数字、曜日、家族関係 名詞、基本動詞、形容詞、疑問詞	・正しくピンインを読めて言える、常用 単語を聞いてわかる、言える。
	5	第8課「家族構成」	・テキストにある新単語学習、自分に変 えて紹介できる。 ○ 陳述句 ○ 反復疑問文	・自分の名前、年齢、家族状況など言え る。 ・’是’，“的”の表現が使える。
		第9課「通学」	・移動手段用語 ○移動の聞き方、答え方 ○所要時間	・距離を表す表現が使える ・a から b までの表現が使える
	6	第10課「アルバイト」	・趣味の聞き方と答え方 ○ 能動詞“能”“会”の使い方 ○ 比較の表現	・自分趣味が言える。 ・趣味について質問できる。
		第11課「ファッション」	・初めて中国のバスに乗る。 ○名詞修飾語 ○結果補語	・バスの乗り方、車内放送を聞きとれる。
	7	第12課「新しい友達」	・友達をお互いに紹介する ○ 様態補語 ○ 二つの「了」	・人を紹介することができる。 ・人名漢字を正しく発音できる。
2 学 期	9	第13課「外食」	・友達と一緒にレストランに入る。 ○ 主述述語文 ○助詞「过」	・メニュー、料理の食べ方、味などに ついて話せる。
		第14課「約束」	・観光名所を案内する。 ○動詞「听说」「见面」 ○助詞「打算」	・観光名所を案内することができる。
		第15課「友達に電話する」	・友達の家に電話する。 ○方向補語 ○使役文	・「今話せるか」、「電源を切る」、「メー ルを送る、受信する」などの表現を覚 える。
	10	第8—15課の復習	・学習した内容をマスターする	・外食、約束、電話をかけるなど学習し た内容をマスターできる
		第16課「郵便局」	・郵便局へ手紙を出しに行く ○方向補語「到」 ○前置詞「把」	・郵便局での必要な単語やフレーズを覚 える。
	11	復習	復習によって期末試験準備	期末考査
3 学 期	12	第17課「家庭訪問」	・先生の自宅を訪問する。 ○進行形 ○助動詞「用」	・相手の話を聞き、質問に正しく答える ことができる。
		第18課「謝恩会」	・謝恩会で。留学生は先生を囲んで歓談 する ○可能補語 ○変化を表す「了」	・自分の意思を正しく伝えることができ る。 ・謝恩会での挨拶言葉を覚える。
	1	第15—18課の復習	・学習した内容をマスターする	・北京に到着、道を尋ねる、買い物、バ スに乗る、新しい友達など学習した内 容をマスターできる。
	2	第8—18課の復習 学年末考査	・学習した内容をマスターする	・郵便局、病院、謝恩会など学習した内 容をマスターできる。 ・学年末考査
	3	中国語のドラマ「流星花園」	・今まで学んだ語彙、文法、文形を実際 の会話の中での使い方、また聞き取り 練習	・正確に普通スピードの生活用語を聞き 取れる

令和5年度 シラバス

校 長	教 頭	教 頭

科 目 名	中国語会話	教 科 名	外国語
学 年	3 年 地域産業科	単 位 数	2 単位
担当者			

1 科目「中国語会話」について

学習の到達目標	昨年を通して学んだ基本的な単語や表現を復習しながら、新しい表現を徐々に加え、目、口、耳を使って繰り返し練習することによって、さらに充実した中国語でのコミュニケーションができるように育成したい。
使用教科書	「しゃべり中国語―場面による中国語会話」(金星堂)及び自主プリント教材

2 科目全体の評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
○言語活動に主体的・積極的に取り組もうとしている。 ○さまざまな工夫でコミュニケーションを積極的に続けようとしている。	○関心のあることなどについて正しく中国語で話することができる。 ○場面や目的に応じて適切に話することができる。	○相手の意図や話の内容を正しく聞き取ることができる。 ○相手が伝えようとすることを、場面や目的に合わせて適切に聞き取ることができる。	○言語の運用について基本的知識を持っている。 ○中国語の文化的背景を理解している。
提出物、授業参加、学習態度等	授業での発表、質問に対する応答、音読テスト等	授業参加、提出物、音読テスト等	授業参加、テスト等

3 観点別学習状況の評価の数量化

評 価	内 容	判定基準	得 点
A	十分に理解できると判断されるもの	80%以上	3
B	おおむね満足できると判断されるもの	50%～79%	2
C	努力を要すると判断されるもの	50%未満	1

※判定基準、得点は各教科・各科で検討し設定。

※評価簿の作成を行う。(例：4 観点別評価簿及び実際評価簿については別紙)

4 各学期及び学年の評価方法

各学期及び学年はシラバスで記載する。また、5段階評価においては以下の通り。中間考査および期末考査の成績、ワークシート、ペアワーク、発表、授業への取り組みの姿勢や学習への意欲などを総合的に評価する。

評 価 内 容	100点法	5段階評価
十分満足できると判断されるもののうちで、特に高い程度のもの	80～100	5
十分満足できると判断されるもの	65～79	4
おおむね満足できると判断されるもの	50～64	3
努力を要すると判断されるもの	35～49	2
努力を要すると判断されるもののうち、特に程度の低いもの	0～34	1

学期	月	学習内容 (教科書の構成)	学習のねらい (文法事項)	評価の観点のポイント
1 学期	4	2 学年の総復習	挨拶の言葉、自己紹介ゲーム	・初対面の挨拶や自己紹介の仕方を覚える
		テキスト P8-13 ウォーミングアップ	ピンイン、名前、数字、曜日、家族関係名詞、 基本動詞、形容詞、疑問詞	・正しくピンインを読めて言える、常用単語を 聞いてわかる、言える。
	5	第1課「自己紹介」	・テキストにある新単語学習、自分に変えて 紹介できる。 ○ 陳述句 ○ 反復疑問文	・自分の名前、年齢、家族状況など言える。 ・‘是’、‘的’の表現が使える。
		第2課「上学」	・移動手段用語 ○移動の聞き方、答え方 ○所要時間	・距離を表す表現が使える ・a から b までの表現が使える
	6	第3課「愛好」	・趣味の聞き方と答え方 ○ 能動詞“能”“会”の使い方 ○ 比較の表現	・自分趣味が言える。 ・趣味について質問できる。
		第4課「バスに乗る」	・初めて中国のバスに乗る。 ○名詞修飾語 ○結果補語	・バスの乗り方、車内放送を聞きとれる。
	7	第5課「新しい友達」	・友達をお互いに紹介する ○ 様態補語 ○ 二つの「了」	・人を紹介することができる。 ・人名漢字を正しく発音できる。
2 学期	9	第6課「外食」	・友達と一緒にレストランに入る。 ○ 主述述語文 ○助詞「过」	・メニュー、料理の食べ方、味などについて話 せる。
		第7課「約束」	・観光名所を案内する。 ○動詞「听说」「见面」 ○助詞「打算」	・観光名所を案内することができる。
		第8課「友達に電話する」	・友達の家に電話する。 ○方向補語 ○使役文	・「今話せるか」、「電源を切る」、「メール を送る、受信する」などの表現を覚える。
	10	第6～8課の復習	・学習した内容をマスターする	・外食、約束、電話をかけるなど学習した内容 をマスターできる
		第9課「郵便局」	・郵便局へ手紙を出しに行く ○方向補語「到」 ○前置詞「把」	・郵便局での必要な単語やフレーズを覚える。
	11	復習	復習によって期末試験準備	期末考査
3 学期	12	第10課「家庭訪問」	・先生の自宅を訪問する。 ○進行形 ○助動詞「用」	・相手の話を聞き、質問に正しく答えることが できる。
		第11課「謝恩会」	・謝恩会で。留学生は先生を囲んで歓談する ○可能補語 ○変化を表す「了」	・自分の意思を正しく伝えることができる。 ・謝恩会での挨拶言葉を覚える。
	1	第1～5課の復習	・学習した内容をマスターする	・北京に到着、道を尋ねる、買い物、バスに乗 る、新しい友達など学習した内容をマスター できる。
	2	第9～12課の復習 学年末考査	・学習した内容をマスターする ・今まで学んだ語彙、文法、文形を実際の会 話の中での使い方、また聞き取り練習	・学年末考査 ・正確に普通スピードの生活用語を聞き取れる

令和5年度 シラバス

校 長	教 頭	教 頭

科 目 名	中国語	教 科 名	外国語
学 年	3 年 選 択	単 位 数	2 単 位

1 科目「中国語」について

学習の到達目標	中国語を通じて国際感覚を体得させ、在日中国人や中国観光客と簡単な会話ができるように育成したい。
使 用 教 科 書	「中国語 HOP STEP JUMP」金星堂

2 科目全体の評価の観点の趣旨

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
○言語活動に主体的・積極的に取り組もうとすること ○さまざまな工夫を加えながらコミュニケーションを積極的にとること。	○関心のあることなどを正しく中国語で話すことができる。 ○場面や目的に応じて適切に話すことができる。	○相手の意図や話の内容を正しく聞き取ることができる。 ○相手が伝えようとすることを、場面や目的に合わせて適切に聞き取ることができる。	○言語の運用について基本的知識を持っている。 ○中国語の学習によって文化的背景が理解できる。
提出物、授業参加、学習態度等	授業での発表、質疑に対する応答、音読テスト等	授業中参加意欲、提出物、音読テスト等	授業中参加意欲、テスト等

3 観点別学習状況の評価の数量化

評 価	内 容	判定基準	得 点
A	十分に理解できると判断される	80%以上	3
B	おおむね満足できると判断される	50%～79%	2
C	努力を要すると判断される	50%未満	1

※判定基準、得点は各教科・各科で検討し設定。

※評価簿の作成を行う。(例：4 観点別評価簿及び実際評価簿については別紙)

4 各学期及び学年の評価方法

各学期及び学年はシラバスで記載する。また、5段階評価においては以下の通り。中間考査および期末考査の成績、ワークシート、ペアワーク、発表、授業への取り組みの姿勢や学習への意欲などを総合的に評価する。

評 価 内 容	100点法	5段階評価
十分満足できると判断されるもののうち、特によくできたもの	80～100	5
十分満足できると判断されるもの	65～79	4
おおむね満足できると判断されるもの	50～64	3
努力を要すると判断されるもの	35～49	2
努力を要すると判断されるもののうち、特に程度の低いもの	0～34	1

学 期	月	学習内容 (教科書の構成)	学習のねらい (文法事項)	評価の観点のポイント
1 学 期	4	発音入門編	母音、子音、声調を学ぶ	・正しく発音することができる。
		中国語紹介 発音特徴を歌を通して掴む 第1課「声調と単母音」 第2課「子音」	・中国語で挨拶する。 ○名前の中国語読み ○授業開始終了挨拶 ○日常挨拶用語	・中国語で挨拶できる。 ・自分の名前を中国語で聴いてわかるし、また言える。
	5	第3課「複母音」 第4課「鼻母音」 第5課「発音上のルール」	・中国語のピンインシステムについて詳しく説明	・ピンイン表記が読める。 ・日本語にない発音と言える。 ・四声をはっきり区別し、正しく発音できる
		GW 中に中国語歌をダウンロードし、聞きなれる	中国語のイントネーションをつかむ	・中国語の四つの声調の変化ができる。
	6	第6課「自己紹介」	・自分の名前、身分、年、誕生日 ○物の数え方 ○名詞述語	・人称代名詞「你 我 他 她」及び複数。 ・判断文、動詞述語文
		第7課「星座」	・星座、年齢、曜日、数を学ぶ。 ○指示代名詞 ○連体修飾語「的」	・数に関する表現を覚える。 ・指示代名詞で表す基本文と言える。
	7	第1～7課の復習	・学習した内容を総まとめ、復習	・期末考査
2 学 期	9	第8課「家族構成」	・家族の人数を構成 ○形容詞述語文 ものを数えたり指示したりする際の表現—量詞	・家族を表す語彙習得 ・基本の形容詞と言える。
		第9課「通学」	・所在を表す表現 ○副詞「在」動詞の重ね方	・「在」を使った表現を使える。
		第10課「アルバイト」	・比較を表す表現「比」 ○時間詞 ○数量補語	・「比」を使った表現を使える。
	10	第11課「ファッション」	・動作の完了を表す表現「了」 ○動作の信仰を表す表現「在」	・「了」の表現を覚える。 ・「在」の表現を覚える。
		第12課「約束」	・時刻を学ぶ。 ○意志、願望を表す表現 助動詞「要、想」 ○経験を表す表現「过」	・「要、想」と使った文章を覚える。 ・「过」の表現を覚える
	11	第8～12課の復習	復習によって期末試験準備	期末考査
	12	第13課「空港」	・空港のチェックインで使われる表現 ○助動詞の「能」。 ○選択疑問文	・「できる、できない」という表現を覚える。 ・「それとも」表現を覚える。
		第14課「銀行」	・動作が完成するときの「好」の表現を学ぶ。 ○動作、行為の対象を表す「给」を学ぶ ○銀行でよく使われる表現	・「～好了」という表現を覚える。 ・「给, 不给」の表現を覚える。
3 学 期	1	総まとめ復習、実践会話練習	実際の情景に合わせて会話中心を練習する	中国語の声調、発音を文章の中でしっかりできる。単語の使い方が正確であること。
	2	学年末考査 中国語歌「彩虹」の練習	・歌詞の意味を説明 ・今まで学んで表現を理解できる ・発音を正確にできる	・歌詞の意味を説明 ・今まで学んで表現を理解できる ・発音を正確にできる